

きゅうしゅう

No.34

目次 CONTENTS

- 1 部隊紹介
海上自衛隊佐伯基地分遣隊
- 2 自治体紹介～大分県佐伯市～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 熊本地震「はくおう」支援活動
- 5 インフォメーション



多用途支援艦「げんかい」



佐伯城三の丸櫓門

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



豊後二見ヶ浦





1 部隊紹介 海上自衛隊佐伯基地分遣隊

分遣隊長挨拶



佐伯基地分遣隊長
2等海佐 高瀬 英行
(たかせ ひでゆき)

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。佐伯基地分遣隊長の高瀬です。佐伯基地分遣隊は、海上自衛隊呉警備隊（広島県呉市）の隷下であり、大分県南部の豊後水道に面する佐伯市に所在する、東九州唯一の海上自衛隊の部隊です。

さて、昭和9年に海軍航空隊が当地に設置されて以来、海軍と佐伯は密接な関係にありました。真珠湾攻撃に際しては、佐伯湾で大規模な訓練が行われ、山本五十六連合艦隊司令長官は、ここ佐伯湾に集結した機動部隊に対し空母赤城の艦上で訓示を行っています。

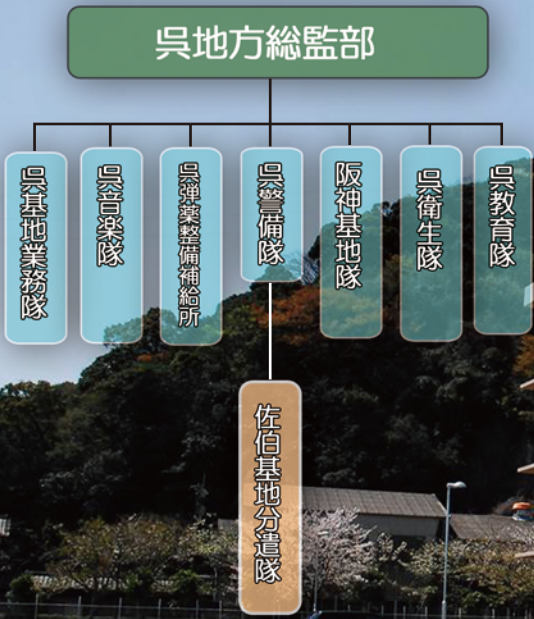
終戦後、佐伯市の管理下で一時的に学校として使用されていた海軍航空隊司令部庁舎を使用し、昭和37年3月、佐伯基地分遣隊が発足しました。また、平成24年には開隊50周年を迎えて、当時の面影を残した新しい庁舎が完成しました。

わが部隊の主な業務は、多用途支援艦「げんかい」による訓練支援、護衛艦等への水船による真水搭載支援、交通船・車両による人員輸送支援、宿泊・給食支援等です。

佐伯基地分遣隊では、地域の皆様との交流の一環として、海の日に「サマーフェスタinさいき」というイベントを開催しています。その他にも、「さいき春まつり」への参加や、中学・高校生を対象とした職場体験の受け入れなども行っています。今後とも、皆様に信頼していただける部隊となれるよう努力してまいります。



呉警備区部隊の指揮系統



サマーフェスタinさいき



一般公開

支援活動



上陸するため交通船による人員輸送

職場体験



結索訓練



一般公開



護衛艦への真水給水



基本教練

■ 佐伯基地分遣隊の海上における主な任務は、入港艦船に対する人員輸送、真水、食料品、燃料の補給等を行い、陸上においては、入港艦船乗員の宿泊、休養等の支援を行っています。また、地域に信頼していただける部隊であるよう日々努力しています。

佐伯基地分遣隊全景



海軍時代の庁舎



多用途支援艦「げんかい」

2 自治体紹介

大分県佐伯市

「青い海 きらめく清流 豊かな緑。
九州で一番広いまち」



佐伯市長 西嶋 泰義
(にしじま やすよし)



市章

佐伯市の頭文字「S」を図案化したもので、緑豊かな山々と清流、豊饒の豊後水道にあって市民が連携し、歴史や文化を大切にしながら未来へ向かっていくことを表しています。

〒876-8585

大分県佐伯市中村南町1-1 ホームページアドレス <http://www.city.saiki.oita.jp/>

市長あいさつ

九州一の面積を誇る佐伯市は、「祖母傾国定公園」の一角をなす緑豊かな山々と、「日豊海岸国定公園」にも指定される270kmにも及ぶ美しいリアス式海岸に囲まれた自然あふれるまちです。

そして、その豊かな自然から育まれる豊富な食材を背景に、「食のまち」でもあります。新鮮な地元のネタにこだわった「佐伯寿司」、全国のB級ご当地グルメを集めたB-1グランプリでおなじみの郷土料理「ごまだしうどん」、「東九州伊勢えび海道」と銘打った伊勢えび料理をはじめ自慢のグルメがたくさんあります。

東九州自動車道の整備も進み、本市へのアクセスが更に便利になりました。是非、多くの皆さまにお越しいただき『食』をはじめ、佐伯の魅力をご堪能いただきたいと思います。



ごまだしうどん



佐伯寿司

すみつけ祭り



宇目木浦地区に伝わる奇祭。かつて木浦集落には鉱山があり、銀や鉛、スズなどを産出して栄えた。旧正月が終わり、鉱山に入るときに事故がないように安全祈願したことが由来で、400年以上の歴史を持つという。顔についた墨が多いほど縁起が良いとされている。

伊勢えび祭り



豊後水道・日豊海岸の赤い宝石「伊勢えび」。リアス式海岸が美しく連なる日豊海岸には黒潮洗う荒磯が多くあり、活きのよい伊勢えびが育つ。高級食材の感があるが、佐伯市では気軽に伊勢えび料理を楽しむことができる。

カボスひらめ



大分特産のかぼすをえさに混ぜて育てるカボスひらめなどのブランド魚も盛んに養殖されている。

養殖ブリの水揚げ



漁業生産量は、大分県全体の6割以上を占める。

(背景：九州最東端鶴御崎)

佐伯市と自衛隊との関わり

海上自衛隊佐伯基地分遣隊が設置されている当市には、毎年多くの艦船が練習の合間に寄港し、乗組員の皆様が休日のひとときを楽しんでいます。市内の飲食店や商店は、日々責任の重い大変な職務に励んでいる隊員の皆様に、心地よい時間を過ごし、英気を養っていただこうと、温かいおもてなしに努めています。

また、台風等非常時には、湯布院駐屯地第132特科大隊から迅速な協力をいただいているほか、近い将来発生が危惧されている「東南海・南海地震」の対策に向けても、同隊と緊密な連携をとり対策を講じていることです。



▲災害時避難所運営訓練の様子

3

九州防衛局業務紹介

別府防衛事務所



別府市大字別府3051-1 TEL (0977)21-0215

別府防衛事務所は、九州防衛局の出先機関で大分県を管轄区域としています。

管内には、特定防衛施設に指定されている西日本最大規模の日出生台演習場をはじめ、十文字原演習場、駐屯地・弾薬支処など重要な自衛隊施設が多数所在しています。

主な業務は、これらの防衛施設が常に安定して使用できる状態を維持するための諸施策（施設用地の取得、施設の管理、防衛施設周辺の環境整備及び地方協力確保事務など）に係る関係機関や自治体等との連絡、交渉及び業務に関する調査などを行っています。

そのほか、各種行事への参加や周辺住民の方々との対話と交流に努め、「地域に密着した事務所」をコンセプトに、職員一同取り組んでいます。

【事務所紹介・沿革】

当事務所は、別府市の中心部に位置し、別府市民の憩いの場となっている花と緑に囲まれた別府公園に隣接する一画に所在しています。

終戦後、この公園を駐留米軍がキャンプ地（キャンプ・チッカマウガ）として使用していた昭和24年に、当事務所の前身である特別調達庁福岡支局別府出張所をキャンプ内に、大分連絡官事務所を大分県庁内にそれぞれ開設。その後、移転、改組等を重ね、返還後の昭和32年に開設された別府駐屯地（昭和53年扇山へ移駐）の一部であった現在地へ昭和36年に移転しました。翌年には、防衛庁建設本部と調達庁が統合し防衛施設庁が発足、平成19年の防衛省への組織改編を経て現在に至っています。

敷地内には、当時から引き継がれたクスやマツ、桜などの高木のほか、移転後に植栽された大分県特産の「かぼす」も残っており、今も職員の手で大切に管理しています。

「かぼす」

5月上旬に小さな白い花が開花し、さわやかな香りを放ちます。夏から秋は青果、その後黄熟します。刺身、焼魚、鍋物、焼酎などに果汁をかけて、酸味や風味を味わいます。



4 熊本地震「はくおう」支援活動

九州防衛局は、熊本地震により、被災された方々への災害救助活動の一環として、防衛省が契約し、八代港に停泊していた民間船舶「はくおう」において、4月23日(土)から5月29日(日)まで、1泊2日等の宿泊、食事及び入浴のサービスを提供するなど支援活動を行いました。



「はくおう」の外観



受付風景



部屋(例)



大浴場



レストラン風景



5月29日(日)「はくおう」支援活動最後の日、くまもんが乗船し被災された方々を励ましました。

なお、「はくおう」をご利用された約2,600名の方々に、宿泊用の部屋、食事、浴場等についてアンケートを実施したところ、97%の方々が「満足」「やや満足」との回答がありました。

5 インフォメーション

『防衛省車座ふるさとトーク』開催

平成28年5月29日(日)に若宮防衛副大臣が宮崎県新富町総合交流センター「きらり」に赴き、第6回防衛省車座ふるさとトークが開催されました。住民側からは町内の商業、自治会、消防団等関係者11名が参加され、「自衛隊と地域社会との信頼醸成」のテーマに沿って活発な意見が交わされました。

また、若宮防衛副大臣は東日本大震災、宮崎県における口蹄疫での自衛隊の活動状況について写真パネルで紹介し、「住民に信頼してもらうことが隊員の励みになる。さまざまな形で地域貢献活動に取り組んでいきたい。」と説明しました。



▲車座ふるさとトーク全体風景



▲若宮防衛副大臣と参加者全員による記念撮影

『九州・沖縄防衛行政連絡会議』開催

平成28年5月18日(水)健軍駐屯地において、九州防衛局、沖縄防衛局及び西部方面総監部による防衛政策の理解獲得、防衛環境の醸成、施設行政に関する事項について意見を交換し、相互理解の深化を図りました。

この会議は、平成19年9月の地方防衛局新設に伴い、地方協力確保事務が地方防衛局の業務として付加されたことから、防衛行政全体に幅を広げて、平成22年度より年1回開催しています。



▲会議風景

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
- ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>